

2020年 8月 6日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

～清掃ロボットがエレベーターの自動乗降可能に～

東急コミュニティーと CYBERDYNE がロボット用エレベーター制御装置を共同開発

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）と、CYBERDYNE 株式会社（本社：茨城県つくば市、代表取締役：山海嘉之）は、清掃ロボットをはじめ、今後普及が見込まれる様々なサービスロボットがエレベーターで自動乗降が可能となる国内主要メーカー対応型のロボット用エレベーター制御装置を共同開発し、東京都目黒区に所在する東急コミュニティーの研修施設「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA」（以下、NOTIA）にて実証試験を開始しましたのでお知らせいたします。

IoTによる清掃ロボットのフロア移動

ビル管理業界では、清掃業務をはじめとした諸業務での深刻な労働力不足と、「非接触」や「密を回避した新しい働き方」への対応が求められています。世の中のロボティクス、AI、IoT等の目覚ましい技術進歩を不動産管理事業に取り入れるべく、当社では、自社研修施設 NOTIA を活用しながら、業務の生産性向上、省力化・省人化に向けて、様々な技術導入の実証試験やビジネスモデル化の検討を進めてまいりました。また CYBERDYNE は、2018年4月から次世代型清掃ロボット CL02 の展開を開始し、商業施設や空港、オフィスビルなどへの導入を進めてまいりました。

清掃ロボットは、上下階の移動に人の手が必要となるため、特にオフィスビルやホテルなど階数の多い建物では、ロボット単独でエレベーターを自動乗降し移動する機能の実装が求められてきました。また、エレベーター業界では各メーカー共通の規格や方式は定められておらず、ロボットのエレベーター制御装置を開発しても従来はエレベーターとロボットのメーカーごとにカスタマイズを行う必要がありました。



共同開発したエレベーター制御装置

ロボットの活用拡大に向けて

そこで、東急コミュニティーと CYBERDYNE は、共同でエレベーターとロボットを連携するための仕様を確認し、国内主要5メーカー（三菱電機、日立、東芝、フジテック、オーチス）に対応できる汎用性の高いロボット用エレベーター制御装置の開発を進めています。NOTIA に当該装置を設置し、稼働中の

日立製エレベーターと CL02 との連動検証を行い、その有効性を検証いたしました。今後は、同施設での夜間無人清掃実験や、東急コミュニティーの他施設での実証を順次進め、その他4社のエレベーターについて連携確認などを行ってまいります。

東急コミュニティーとCYBERDYNE は、この国内主要昇降機メーカー対応型のロボット用エレベーター制御装置の開発により、次世代型各種自律走行ロボットのエレベーター自動乗降を実現し、取り組みに賛同する企業を募りながら、ビルやホテルなどにおいて様々なロボットが建物の全てのフロアを安全かつ自由に行き来することのできる、人とロボットの理想的な共存環境を創出するとともに、高い技術力に裏付けられた安心・安全な建物管理環境の実現を目指してまいります。



エレベーターを自動乗降するCL02



エレベーターに搭乗中のCL02

【リリースに関するお問い合わせ】

経営企画部広報センター（担当：高村・伊藤）

※このニュースリリースは、国土交通省、国土交通省建築専門紙記者会にお配りしています。